

委員会行政視察報告書

委員会名	観光建設常任委員会			
活 動 委 員 名				
久慈 年和 委員長		笹渕 峰尚 副委員長		山田 洋子 委員
小笠原 良子 委員		江渡 信貴 委員		工藤 正廣 委員
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料等	3 議長交際費	一人当りの費用	
1, 162, 001	16, 000	9, 266	197, 878	1, 187, 267
期 間 (年月日)	令和6年7月23日（火） ～ 令和6年7月25日（木） （2泊3日）			
視察事項	・鹿児島県指宿市 「池田湖周辺観光施設整備事業について」			
	・鹿児島県南九州市 「市の景観計画と歴史遺産を活用した景観づくりについて」			
視察先	鹿児島県指宿市、南九州市			
内容及び成果				
別紙のとおり				

観光建設常任委員会 先進地行政視察報告書

2024年 8月30日

報告者 久慈年和

1. 調査年月日 2024年 7月23日（火）～25日（木）

2. 目的地と調査項目

・目的地 7月24日（水） 鹿児島県指宿市

調査時間 9時30分から11時00分

視察事項（1）池田湖周辺観光施設整備事業について

・目的地 7月24日（水） 鹿児島県南九州市

調査時間 14時00分から15時30分

視察事項（1）市の景観計画と歴史遺産を活用した景観づくりについて

3. 調査報告書

<鹿児島県指宿市>

池田湖周辺観光施設整備事業について

・目的地 7月24日（水） 鹿児島県指宿市

調査時間 9時30分から11時00分

<行政視察項目概要>

指宿市は、薩摩半島の最南端、鹿児島湾（錦江湾）口に位置する人口36,585人（2024年7月1日現在）の花と緑に溢れた「食」と「健幸」のまちです。

市の中央部に九州一の大きさを誇る池田湖、南西部に標高924mの薩摩富士の別名で呼ばれてる開聞岳、南部には南国ムード漂う長崎鼻、東部には潮の干満で陸続きになる環境省のかおり風景百選に選定された「知林ヶ島」を有しています。

年間平均気温は、暖流の影響で約19℃と高く、温暖で亜熱帯的な気候のため、市内にはソテツが自生し、幸せを呼ぶ寝たい蝶のツマベニチョウが乱舞しています。

◆人口と世帯数

2020年10月1日現在 （人口） 39,045人 （世帯数） 17,773世帯

2024年 7月1日現在 （人口） 36,585人 （世帯数） 17,275世帯

◆議員報酬

議 長 388,000円

副議長 310,000円

議 員 293,000円

◆議員数

条例定数 18人

◆財政規模

2024年度当初予算	一般会計	268億2700万円
	特別会計	139億9007万円
	水道事業会計	13億4199万円
	公共下水道事業会計	12億6926万円
	温泉供給事業会計	3388万円

池田湖周辺観光施設整備事業について

<指宿市観光客の年別入込状況>

- ・ 2023年は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行され、前年比で増加したが、2018年比で見ると、日帰りは回復傾向だが、宿泊は回復しきれていない。
観光需要は回復傾向だが、日帰りで指宿市を訪れている観光客が多い傾向が見られる。

<指宿市の全体傾向>

- ・ 2023の指宿市への宿泊旅行人数は約48万人で、対前年比23.7%増。(対2019年度比78%まで回復) 日帰り客人数は、298万人で対前年比21.6%増。(対2019年度比95%まで回復)
特に、宿泊旅行人数は、長いスパンで見ると減少傾向にある。

<発地別宿泊客数・国籍別外国人宿泊客数>

【宿泊客数】

480千人で前年比23.7% (92千人) の増。外国人宿泊客数は、22千人で前年比137.6% (21千人) の増となったが、2018年比では、30%程度であり、以前の実績まで回復したとは言えない。

【考察】

国内からの宿泊客において、昨年より入込客数が大幅に増加した。県外からの入込客数は、大きく増加した前年と比較してさらに増加したが、県内からの宿泊客のみ減少となった。

外国人宿泊者数は、鹿児島空港の定期便が再開され始めたことが大きな要因と思われる。

<日本人・外国人宿泊客数の推移>

- ・ 海外から鹿児島空港へ直接就航する国際線の増加等の影響により、指宿市を訪れるインバウンドは順調に増加している。
国内客については、2019年までを見ると長期的には減少傾向にある。

<指宿市観光客の入込状況>

- ・ 鹿児島空港発着国際線 就航路一覧

1. 韓国 (仁川)	大韓空港	週3往復
2. 台湾 (台北)	チャイナエアライン	週2往復
3. 中国 (上海)	中国東方航空	週2往復
4. 香港	香港空港	週3往復
5. 香港	チャイナエアライン	週3往復
6. ベトナム	国営ベトナム航空	チャーター便を運航

<観光ビジョンの策定と今後の展開>

- ・ 2023年3月に新しい観光ビジョンを策定。目指すべきコンセプト。将来像は「ALOHAなまち指宿」
長年親しまれてきた古き良き「東洋のハワイ」のイメージを残しつつも、新たな指宿市の魅力と人々のうるおいを調和させ、思いやりと慎みを絶やさず、市民一丸となって、心地よい時間を過ごすことができる新しい指宿を目指したい
- ・ ビジョンの明確な目標として、計画期間の最終年度となる2027年の観光消費額を、2018年と比較して「20%増加」させる。
- ・ ビジョンの実現に向けて2023年4月25日に、宿泊業や農業、魚業、商工業等の各団体から組織する「指宿市観光・経済戦略会議」を設立。

<2024年度デジタル田園都市国家構想交付金活用事業>

- ・ 「食」と「体験」をフックとしたコンテンツの磨き上げと販売（誘客）推進

- ・ 国内外への情報発信の強化

<整備に至った経緯について>

- ・ 池田湖は、九州最大の湖で、おおきな群生地や幻の怪獣イッシーがいる湖として知名度が高く、湖畔には年間を通して四季折々の花々が咲き誇り、周辺には様々な施設が整備されるなど、鹿児島県を代表する観光地の一つとして役割を担ってきた。

近年は、施設の老朽化などが進み、湖面を眺めたり、写真を撮ったりするだけの通貨型のビュースポットとして滞在時間の短い観光地となってしまった。

そのため、観光誘客並びに滞在・周遊型観光の拠点づくりを目指して、平成7年度に市に「池田湖周辺観光施設整備事業基本計画」を策定しました。

平成28年度に鹿児島県「魅力ある観光地づくり事業」に採択され、県と協働しながら池田湖周辺の環境整備を進めている。

<県と市の関わり方について>

- ・ 指宿市が平成27年度に策定した「池田湖周辺観光施設整備事業基本計画」に基づき、鹿児島県は「魅力ある観光地づくり事業」の設計や業者選定、進捗管理等を行っている。

指宿市は、魅力ある観光地づくり時行衛で対象にならない既設休憩所や高木、不要看板の撤去を行ったり、整備に伴う住民説明会の実施や新規観光施設の整備、運営業務委託を行ったりしています。

また、施設周辺の護岸については、魅力ある観光地づくり事業の対象外であったため、別に鹿児島県地域振興推進事業を活用し、整備を行っている。

<行政調査の感想>

- ・ 池田湖観光施設公園は、指定管理制度（指定期間：2022年10月から2025年3月）を導入していた。開業以来、県内外から多くのお客様にご利用いただいている。マルシェや朝ヨガ、キッチンカー出店等、地域と連携したイベントや観光体験が実施されており、今後も賑わい創出に期待を寄せている。

また、平均滞在時間の増加のほか、周辺施設への入込比較による経済効果についても、施設整備前に比べて約130%の増加となっており、成果が現れていると言える。

池田湖観光施設公園の整備が進み、池田湖周辺の施設利用者は増加傾向にあり、この集客力を他の施設にも波及するための仕組みづくりを行う必要があるようです。

また、観光施設の管理における事業方式について、サウンディング型市場調査（市有地などの有効活用に向けた検討にあたって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査）を実施し、採算性や参加事業者の提案を踏まえ、現在の指定管理者制度が適当であると判断し、制度を導入しているところですが、自主事業のカフェ事業が大変好評を得ていることから、指定管理料の基準単価について今後検討（安く）するようだ。

十和田市の観光施設の指定管理を導入と新規指定管理を考えているようだが、参考になった視察でした。

市の景観計画と歴史遺産を活用した景観づくりについて

・目的地 7月24日（水） 鹿児島県南九州市

調査時間 14時00分から15時30分

＜南九州市の概要＞

南九州市は、鹿児島県の南西部、薩摩半島の南部に位置し、知覧武家屋敷庭園群をはじめとする歴史的なまちなみや薩南海岸県立公園に指定された風光明媚な海岸線、また、日本一を誇る「お茶」や「さつまいも」などの壮大な田畑が広がる多彩な景観を有するまちです。

＜南九州市の概要＞

南九州市は、鹿児島県の南西部、薩摩半島の南部に位置し、知覧武家屋敷庭園群をはじめとする歴史

◆人口と世帯数

2020年10月1日現在 (人口) 33,080人 (世帯数) 14,485世帯

2024年 7月1日現在 (人口) 31,763人 (世帯数) 16,222世帯

◆議員報酬

議 長 393,000円

副議長 314,000円

議議運委員長 297,000円

常任委員長 297,000円

議 員 289,000円

◆議員数

条例定数 18人

◆財政規模

2024年度当初予算 一般会計 291億0600万円

◆市の景観計画と歴史遺産を活用した景観づくり

・「南九州市景観計画」は、市全体を対象とし、市特有の景観を守り、育て、活用するための基本方針を定めたものであり、市民・事業所・行政が一体となって、魅力ある南九州市ならではの景観を創りあげていくことを目的とした計画となっています。

・知覧武家屋敷庭園群の庭園は、母ヶ岳を中心とする山並みの景観を借景に取り入れていることが特徴です。ところが母ヶ岳を中心に再生可能エネルギー発電施設として風力発電設備の建設計画が立ち上がり、重要な景観や主要な観光振興への影響が懸念されていました。また、市の土地利用において課題である再生可能エネルギー発電所メガソーラー建設が多いことから、南九州市の景観資源を保全するため、景観計画を策定しました。

・取り組みの成果について

○ 市民が計画形成や改善に向けた意識の醸成が図られつつある。

○ 知覧武家屋敷庭園群周辺においては、市や地域住民と一体となりワークショップ開催やアンケート調査、有識者のアドバイスを受けながら、地域独自の景観計画を裁定し、景観形成重点地区の指定を行った。

◆伝統的建造物保存地区の町並み保存について

1) 保存地区の概要

南九州市・知覧武家屋敷建造群保存地区

＜面積＞ 約18.6ha（南北約200m、東西約900m）

知覧麓の町並みは、薩摩藩の南薩の要衝として知覧島津氏の私有地だった。

2) 事業の目的

都市計画法と文化財保護法の規定に基づき、南九州市が都市計画に定める伝統的建造物群保存地区に関し、現状変更の規制・その他保存のため必要な措置について保存条例及び保存計画を定め、地区の歴史的環境の保全を図ることを目的とする。

3) 事業の概要

① 修理事業

伝統的建造物の解体修理、半解体修理、部分修理、屋根葺替修理、塗装修理や石垣の植え直しなどであるが、特別な場合を除き補助対象となる範囲は外観に限られる。

② 修景事業

伝統的建造物以外の建造物の外観を伝統的建造物と調和し、その地区にふさわしい形態に修景整備する事業で、生垣や石垣等の新設事業も含まれる。

③ 復旧事業

生垣捕植等の土地の自然物など環境物件に関する事業。

◆観光客入込数の推移について

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
知覧武家屋敷	162,496人	118,006人	41,328人	45,259人	82,543人
知覧特攻平和会館	407,819人	364,414人	142,164人	179,808人	291,063人
岩屋公園	126,000人	87,500人	70,500人	76,000人	111,000人

<行政調査の感想>

知覧武家屋敷庭園群の庭園は、母ヶ岳を中心とする山並みの景観を借景に取り入れていることが特徴で、母ヶ岳を中心に再生可能エネルギー発電施設として風力発電設備の建設計画が立ち上がり、重要な景観や主要な観光振興への影響が懸念されて、その後、条例制定などで風力発電の建設計画は中止になったそうです。

歴史的な町並みで十和田と比較できないが、景観を大事に取り組む市政は評価できるものでした。

また、市の会計年度職員などの努力で、市街地（道路、生垣など）もきれいに整備や清掃されており、訪れた観光客や視察した私は好印象を得ました。

条例づくりに市民も参画した結果だと思いました。

委員名	笹渕 峰尚
-----	-------

委員会行政視察報告書

委員会名	観光建設常任委員会			
活 動 委 員 名				
久慈 年和 委員長		笹渕 峰尚 副委員長		山田 洋子 委員
小笠原 良子 委員		江渡 信貴 委員		工藤 正廣 委員
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料等	3 議長交際費	一人当りの費用	
1, 162, 001	16, 000	9, 266	197, 878	1, 187, 267
期 間 (年月日)	令和6年7月23日（火） ～ 令和6年7月25日（木） （2泊3日）			
視察事項	・鹿児島県指宿市 「池田湖周辺観光施設整備事業について」			
	・鹿児島県南九州市 「市の景観計画と歴史遺産を活用した景観づくりについて」			
視察先	鹿児島県指宿市、南九州市			
内容及び成果				
・鹿児島県指宿市 「池田湖周辺観光施設整備事業について」（所感） 池田湖畔にある新しい観光施設「IKEDAKO PAX」（いけだ湖パクス）が2022年10月に全面開業となった。この公園は、池田湖の観光誘客や滞在時間の延長を目指して整備されており、カフェやイベントを開催できる広場、水上デッキ、ホワイエなどを備える。隣接する dankenCOFFEE（ダンケンコーヒー）いけだ湖パクス店では、美味しいコーヒーと一緒にトーストやホットサンドを楽しみながら池田湖の美しい景色を眺める場となっている。当市においても十和田湖、奥入瀬溪流はもとより景観を活かした施設整備を検討するべきだと思った。今後の当市観光業発展のため参考にすべき案件であった。				
・鹿児島県南九州市 「市の景観計画と歴史遺産を活用した景観づくりについて」（所感） 鹿児島県南九州市は、歴史的景観や自然景観を大切にしており知覧麓地区の武家屋敷群や川辺の清水磨崖仏など、歴史的景観や万之瀬川周辺の田園風景や海岸地域の自然景観を有している。令和4年度に南九州市景観計画を策定。この計画では景観形成基準を示し、一定規模以上の行為については届出により景観誘導し、更に景観推進事業補助金と景観改善事業補助金の2つの制度を設けまちの景観づくりの推進を図っている。知覧武家屋敷群は重要伝統的建造物群保存地区に指定されるなど豊富な観光資源を有しており、それらは市民・事業者・行政の協力により、整備され美しいまちづくりが推進されていた。当市の歴史も誇るべきものがありそれらを活用したまちづくりに力を入れて取り組むべきであるとの思いに至る機会となった。				

委員名	山田洋子
-----	------

委員会行政視察報告書

委員会名	観光建設常任委員会			
活 動 委 員 名				
久慈 年和 委員長		笹渕 峰尚 副委員長		山田 洋子 委員
小笠原 良子 委員		江渡 信貴 委員		工藤 正廣 委員
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料等	3 議長交際費	一人当りの費用	
1,162,001	16,000	9,266	197,878	1,187,267
期 間 (年月日)	令和6年7月23日(火) ～ 令和6年7月25日(木) (2泊3日)			
視察事項	・鹿児島県指宿市 「池田湖周辺観光施設整備事業について」			
	・鹿児島県南九州市 「市の景観計画と歴史遺産を活用した景観づくりについて」			
視察先	鹿児島県指宿市、南九州市			
内容及び成果				
■鹿児島県指宿市 「池田湖周辺観光施設整備事業について」				
池田湖(鹿児島県)と十和田湖(青森県・秋田県)の観光開発には、いくつかの違いがあります。両湖の特徴や地理的条件、周辺環境などが異なるため、観光開発のアプローチも異なっています。以下に主な違いをまとめます：				
1. 地理的特徴と自然環境： - 池田湖：九州最大のカルデラ湖。温暖な気候で、周年観光が可能。 - 十和田湖：火山湖で、十和田八幡平国立公園内にある。				
2. 観光の中心的テーマ： - 池田湖：温泉リゾートとの連携、水上アクティビティ - 十和田湖：自然景観鑑賞、トレッキング、紅葉観光				
3. 周辺施設の開発： - 池田湖：レジャー施設やカフェ、温泉施設など、観光施設の開発が進んでいる。 - 十和田湖：国立公園内のため、開発に制限があり、自然を活かした施設が中心。				
4. アクセス： - 池田湖：都市部からのアクセスが比較的良好。 - 十和田湖：やや交通の便が悪く、観光客の滞在時間が長い傾向がある。				

5. 季節性:

- 池田湖:年間を通じて観光が可能。
- 十和田湖:夏季と紅葉シーズンがピーク。冬季は一部施設が営業。

6. 文化的要素:

- 池田湖:地元の伝説(例:イッシー)を活用した観光振興。
- 十和田湖:奥入瀬溪流の自然信仰や、県境の食事などが組み込まれている。

7. 観光客のターゲット:

- 池田湖:家族連れやカップル、国内旅行者が多い。
- 十和田湖:自然愛好家、写真愛好家、インバウンド客が多い。

8. 環境保護の取り組み:

- 池田湖:観光開発と環境保護のバランスを取る努力がされている。
- 十和田湖:国立公園として厳格な環境保護政策が実施されている。

9. 地域経済との関わり:

- 池田湖:地元の農水産物を活用した飲食サービスなど、地域経済との密接な連携。
- 十和田湖:自然を活かした体験型観光や、周辺地域を含めた広域観光の促進。

鹿児島県の魅力ある観光地づくり事業の採択を受け、池田湖周辺における観光地整備を進めています。令和3年9月上旬～令和4年1月末、観光施設や公衆トイレの新築工事、広場や駐車場の整備工事など、親水性を持った水辺環境の整備工事等がすすめられています。県の事業が多く、市の事業のなかで今回現地視察も行った池田湖のカフェ及び周辺を含めた開発です。

指定管理を利用した予算は900万円ですが、今年度で3年になり、次年度から5年の指定管理のため募集を新たに行う予定だが、現在行っている護岸整備などが終わりフルオープンとなるためカフェ運営だけでなく駐車場以外の公園全体の管理とする予定となっていた。維持管理費、清掃、メンテナンス、人件費という予算からなる指定管理制度利用と、直営での業務委託を比べた場合、人権費の部分で指定管理者制度のほうが、低予算であったため次年度以降も指定管理者制度を利用するという説明がありました。

まとめ

指宿市ではDMOもあるが池田湖周辺観光施設ではDMOは直接関与していないということであった。施設はサウンディング型市場調査を実施し、採算性や参加事業者の提案を踏まえて整備を行ったため、カフェ事業が大変好調であるという事であった。

視察の際にこのカフェでコーヒーを購入したが、鹿児島市内でも人気のカフェ事業者ということで、リゾートらしいおしゃれ感と美味しさと備えており、飲食だけでなく冷凍食品の持ち帰りなど、広くない店舗ながら充実していた。

池田湖周辺観光施設利用者は増加傾向にあるため、この集客力を他の施設にも波及させるために、レンタサイクルの設置やモデルルートの作成などにも注力しているのが、案内板などからもわかりやすくなっていた。

このように、池田湖の観光開発事例から、十和田市の観光振興にも適用できる有効な戦略がいくつか見えてきます。

1. サウンディング型市場調査の活用：

十和田市でも、観光施設の整備や運営方法を検討する際に、民間事業者の意見を積極的に取り入れることで、より魅力的で採算性の高い施設づくりが可能になるでしょう。

2. 地域の特色を活かした飲食施設の誘致：

十和田湖周辺にも、地元の人気店や特色ある飲食事業者を誘致することで、観光客の満足度向上と滞在時間の延長が期待できます。

3. 周辺施設への波及効果を狙った取り組み：

レンタサイクルの設置やモデルルートの作成など、十和田湖周辺の観光スポットを有機的につなぐ取り組みは、地域全体の観光振興に効果的でしょう。

4. SNS を活用した情報発信：

十和田湖の四季折々の美しさや、周辺の観光資源を SNS で効果的に発信することで、若い世代を中心とした新たな観光客層の開拓が可能になります。

5. 近隣の観光地との連携強化：

十和田湖と周辺の観光地（例：奥入瀬溪流、八甲田山）を結ぶ周遊プランの開発や、広域での観光プロモーションを行うことで、地域全体の魅力向上と観光客の増加が期待できます。

6. 環境保全と観光振興のバランス：

国立公園内にある十和田湖では、自然環境の保護を最優先しつつ、持続可能な観光開発を進めることが重要です。

これらの戦略を十和田市の特性に合わせて適用することで、自然環境を守りながら観光振興を図り、地域経済の活性化につなげることができるでしょう。また、季節性の高い十和田湖の観光をより通年化させる取り組みや、地域の文化や歴史を活かした体験型観光の開発など、池田湖とは異なる十和田湖ならではのアプローチも重要になると考えられます。

■鹿児島県南九州市

「市の景観計画と歴史遺産を活用した景観づくりについて」

南九州市の景観計画に関する主要な点をまとめます

1. 届出制度

- ・ 一定規模以上の建築行為や開発行為に対して事前届出が必要
- ・ 早い段階からの相談を推奨

2. 景観形成基準

- ・ 建物や工作物の高さ、色、デザインなどに関する指針
- ・ 「南九州市景観形成ガイドライン」に詳細を掲載
- ・ 山並みを背景とした街並みなどの事例を提示

3. 景観形成重点地区等の指定

- ・ 市全域を景観計画区域とし、その中に重点地区を設定
- ・ 現在 8 地区を候補地として指定(知覧武家屋敷周辺地区、岩屋公園周辺地区など)

4. 景観重要路線・景観重要河川の指定

- ・ 14 路線と鉄道 1 路線、8 河川を候補として指定

5. 景観重要建造物・樹木・公共施設の指定

- ・ 地域のシンボルや歴史的・景観的に重要な建築物や樹木を保全

6. 景観づくりの推進に対する助成

- ・ 景観推進事業補助金: 重点地区の指定等に向けた活動への助成(上限 20 万円/年)
- ・ 景観改善事業補助金: 修景に係る工事費等への助成(事業内容により限度額が異なる)

これらの取り組みを通じて、南九州市は市民、事業者、行政が協働して、愛着と誇りのある景観づくりを目指しています。景観形成には、地域の特性を活かしつつ、調和のとれた街並みや自然環境との共生が重視されています。

実際に現地を調査しました。歴史的建造物が残る知覧武家屋敷周辺地区を見てみると以下のような特徴と取り組みが考えられます。

1. 歴史的景観の保全: 知覧武家屋敷群は、江戸時代の武家屋敷や庭園、石垣などが良好に保存されている地区です。この歴史的景観を維持・保全することが最重要課題となっています。
2. 伝統的建造物群保存地区: この地区は重要伝統的建造物群保存地区に選定されて

おり、国の文化財保護法に基づいた厳格な保存措置が取られています。

3. 景観形成重点地区: 南九州市の景観計画において、知覧武家屋敷周辺地区は景観形成重点地区候補地として指定されています。これにより、よりきめ細やかな景観形成が推進されています。
4. 建築規制: 新築や改築の際には、周囲の歴史的景観と調和するよう、高さ、色彩、形態、意匠などに関する厳しい基準が設けられている。
5. 石垣や生垣の保全: 武家屋敷地区の特徴である石垣や生垣の保全・修復に力を入れている。
6. 電線類の见えない化: 歴史的な街並みの景観を損なわないよう、電線類の地中化や屋敷の裏手から電線を配置する見えない取り組みが進められている。
7. 看板や広告物の規制: 歴史的景観を損なわないよう、看板や広告物の設置に関する規制が設けられている。
8. 観光と景観の両立: 観光地としての機能を維持しつつ、過度な商業化を避け、歴史的景観を守るバランスの取れた取り組みが行われている。これは住民が話し合いをもって行われている。
9. 住民参加: 地域住民の理解と協力が不可欠なため、住民参加型の景観づくりが推進されている。
10. 景観教育・啓発: 地域の歴史的価値と景観保全の重要性について、住民や来訪者への教育・啓発活動が行われている。

これらの取り組みにより、知覧武家屋敷周辺地区では、歴史的価値の高い景観を保全しながら、魅力的な街並みづくりが進められていると考えられます。

この武家屋敷がある地域から見える山は、まちのシンボルとして古くから愛されていた山であるが、その山に太陽光発電建設計画があったが、この景観計画の条例を制定することによって、保護されることになったという。地域の価値観が守られたこの決定は、地域の人々が長年大切にしてきた景観の価値が、法的な保護という形で認められたことを意味します。

■まとめ

継続的な取り組みの必要性が肝であることを勉強しました。住民総意での意思決定を行っていることで、議論も決定も実行も進まないのではないかという疑問があったが、住民の話し合いがあることで、活性化になっているという成功例であると感じた。

今後も景観保護と開発のバランスを取る努力が続けられることが重要ですが、住民と市との間に隔たりがない、関係性であることがポイントであると感じました。十和田市でも住民の意見ではなく、営利業者の声が大きく、偏った政策になる可能性があるが、そのようなことも、話し合いで行っているという、ことであつた。

十和田市の特性を考慮し、活用できそうな景観条例の重要性について、以下のようにまとめました

1. 自然景観の保全: 十和田湖や奥入瀬渓流などの豊かな自然景観を保護し、その美しさを維持することができます。
2. 文化的景観の保護: 現代美術館や官庁街通りなど、十和田市の特徴的な都市景観や文化的景観を守ることができます。
3. 観光資源としての価値向上: 美しい景観は重要な観光資源となり、十和田市の観光業の発展に寄与します。
4. 地域アイデンティティの強化: 景観の保全を通じて、住民の地域への愛着や誇りを育むことができます。
5. 調和のとれた開発の促進: 自然環境や既存の街並みと調和した開発を誘導し、バランスの取れた街づくりを実現できます。

これらの点を重視することで、十和田市の自然や文化を活かしつつ、持続可能な発展を実現する景観条例の運用が可能となると考えます。

十和田市の官庁街通りの取り組み、環境省が行っている国立公園での規制なども生かしながら進めることも大切だと感じた。

委員会行政視察報告書

観光建設常任委員会～

小笠原良子

視察先

- ・ 鹿児島県指宿市 「池田湖周辺観光施設整備事業について

7月23日、十和田から鹿児島空港へ。国内でこれほど長い飛行は初めて。長時間乗って夕方は、指宿へこころの宿に宿泊し、翌日、指宿市役所へ。市民憲章から先人からの教えを引継ぎ明るい未来を「指」し示し幸せが「宿」る「世界に誇れる指宿市」をつくるために誓いを立てた町。指宿市は人口3万7千人の町。全国からたくさんの観光客がおとずれ賑わいのある町。町中にはソテツの木がめだち、南の島へ来たという印象でした。大好きなオクラの花があちこちに咲いていて、オクラの花を初めて知ったというメンバーもいました。十和田でもオクラの花をみることはあったからです。オクラの花は美しく大好きな花でしたから。その後「池田湖」へ車を走らせこの「池田湖」は十和田市の十和田湖と同じカルデラ湖だということです。十和田湖にはヒメマスがいて、この池田湖にはウナギがいるようです。この点では豊かな資源に恵まれているということでしょう。

ここで特に印象的だったのは、池田湖観光施設公園の整備が進み、集客力が増え、人を配置し、維持管理がさらに進むことで施設の利用者が増えているということでした。とりわけ、観光施設の管理の事業方式に大きな特徴がありそうでした。つまりカフェ事業の成功が大きく、好評につき大きく前進できたからだと思います。指定管理者制度が適当であったということ、今後どのように進んでいくかしっかり見ていくことになるれば、見事に進んでいくことになるでしょう。

話しは変わりますが、この「指宿」を漢字からまっすぐ「いぶすき」と読むには無理があって、簡単に読めるように親しくできればとおもいました。

視察先

鹿児島県南九州市 「市の景観計画と歴史遺産を活用した 景観づくりについて」

南九州市のキャラクターは「お茶むらい」、ここは人口、そんなに多くもなく**33,080**人、ところが景観計画と同時に、地域への誇りや町そのものの魅力はただものでは無かった。景観計画の内容をみると、どんなに町や、そこで住み、住民がまちを愛し、いかに大事にし守られてきたか。素晴らしい景観にただ驚くばかりでした。(2)景観形成基準、事例として(山並みを背景とした街並み)、さらに配慮していただきたい事項と、そして市民・事業者・行政が協働して取り組み、みんなが愛着と誇りのある景観。景観形成重点地区候補地(現在**8**地区)、重要路線・重要河川、重要建造物・樹木・公共施設の指定、そして助成などよくここまで十分な話し合いがされた結果だと思う。

その後、知覧の町並み保存が素晴らしい。はじめて訪れた町に感動しきり、限られた時間の中、ゆっくりするのも無理がありましたが、もう一度訪ねたい町になりました。

伝統的建造物群保存地区の町並み保存について、ここには(国選定)重要伝統的建造物群保存地区(国指定名勝)知覧麓庭園が在りまさに宝の文化財、町並み保存への取り組みは戦前・戦後を生き抜いたもの。町並み保存についての説明会は、数回やり同意を得たというもの。その話し合いの場所にいたなら、どんなにワクワクし心驚いたか、歴史と文化を生かす、町づくりところから賞賛の拍手を送りたい。お茶で有名な知覧茶、香り良くおいしかったです。(国指定)の関係資料、今から**270**年ほど前に整備されたという事の驚き、武家屋敷の戸ごとに築かれた保存地区、この南九州にこれほどの財産を持つ自治体、ところか

らうらやましいと、そして管理の大変さに頭が下がります。これほどの重要伝統的建造物群保存地区にもう一度ゆっくりと歩けるだろうか。伝統的建造物群保存地区保存事業にショックを禁じ得なかった。うらやましいとも感じた。先祖のみなさんの歴史に心よせ、思いを寄せる地域に敬服です。これからもこの歴史遺産をたくさんの方々に残し、語り伝えていくことをのぞみます。(国指定名勝) 知覧麓庭園の七庭園が民有地であること、7庭園のうち一か所は池泉式の庭園で他の六か所は枯山水の庭園であること、そして庭園の借系まで計算されていたことにまた驚きであった。そしてその7庭園は勿論非課税であり、庭の見どころとして永遠かと思うと灌漑深い思いになりました。

指宿市池田湖周辺観光施設整備事業について

観光建設常任委員会 江渡 信貴

指宿市観光課では、開聞岳を臨む眺望や四季折々の花々等、素晴らしい景観に恵まれ、国内外を問わず多くの観光客が訪れる池田湖に観光施設を整備し、滞在型・周遊型観光をより一層強化することで、滞在時間の延長や交流人口の拡大につなげ、池田湖周辺や本市の活性化を図ることを目的とし環境整備をしました。令和6年度以降も鹿児島県南薩地域振興局の「地域振興推進事業」を活用して順次整備が進められていくそうです。

管理対象施設の構成として

- ・ 観光施設 厨房及びバックヤード (32.86 m²)

利用者がくつろぎながら憩う喫茶スペースとしての利用を想定しており、軽飲食を提供できる程度の厨房を設置します。また、厨房と隣接して、バックヤードを設置しています。

- ・ フリースペース (34.50 m²)

フリースペースでは、観光施設を訪れる利用者が休憩する場

や、観光体験や市民活動 等を実施する場としての利用を想定しています。貸スペースとしての利用も可能です。

- ・ ホワイエ (34.72 m²)

ホワイエでは、観光体験や市民活動等を実施する場としての利用を想定しています。 貸スペースとしての利用も可能です。

- ・ その他の設備

多目的トイレ 1 室を設置しています。

交流広場及び水上デッキ (屋外)

施設外に交流広場や水上デッキ等を設置し、イベント開催等での使用 (貸スペースとしての利用を含む) が可能です。

交流広場付近には、屋外用のコンセント盤 (電源) と立水栓 (水道) を設置しており、イベント時の使用を見込んでいます。

- ・ 公衆トイレ (屋外) (面積 52 m²)

施設外に公衆トイレを設置しています。男性トイレ (洋便器 2, 小便器 3, 水洗器 2 器), 女性トイレ (洋便器 4, 水洗器 2 器), 多目的トイレ 1 室 (オストメイト付き) を設置

しています。

- ・ 駐車場（屋外）

観光施設の周辺に、普通乗用車 36 台、軽自動車 5 台、大型バス 3 台、バイク・自転車用 6 台の駐車場を設置する予定となっていますが、令和 6 年 7 月 1 日時点で未整備の箇所があります。駐車場については、キッチンカー等を使用する際の貸スペースとしての利用も 可能です。

- ・ 遊歩道及び親水性公園（屋外）

施設周辺に遊歩道を設置します。遊歩道では、訪問客の通行に支障がない範囲でマルシェ等のテントを展開する等、貸スペースとしての利用も可能です。また、湖面との境には親水性公園を整備しています。

施設の利用状況 令和 4 年度（6 か月） 165,265 人 令和 5 年度（12 か月） 291,760 人 だそうです。課題と今後の展望は集客力を更に周辺の施設に波及させるため、周遊観光を推進するための仕組みづくりを行う必要があるそうです。 レンタサイクルの設置やモデルルートの作成等行っていくそうです。十和田湖周辺でも利用できる事業があると感じた。

市の景観計画と歴史遺産を活用した景観づくりについて

観光建設常任委員会 江渡 信貴

知覧は、薩摩藩（島津 77 万石）の 113 外城の一つで、南薩の要衝として知覧島津氏の私領地でした。伝統的建造物群保存地区として地区面積 18.6 ヘクタールが昭和 56 年に選定され保存されている町並みは、今から 250 年程前に整備されたと伝えられています。領主の御飯屋を中心として道路割をなし、防備を兼ねた城塁型の区画となっています。また、武家屋敷の戸ごとに庭園が築かれ、母屋と庭園がよく調和していることと、通りに面した石垣の上には、大刈り込みによる生垣が続き、地域全体が自然をよく取り入れた一つの庭園都市的な造りとなっており、伝統的建造物群及び地割りがよく旧態を保持している地区として重要伝統的建造物群保存地区に昭和 56 年 11 月 30 日に選定されました。保存事業については、重伝建選定から現在まで、地区住民の理解と協力を得て、140 件を超える修理・修景事業を実施し、歴史的景観の保全に努めているそうです。

管理事業は南九州市が自ら行っていて、建造物の管理等に必要な防災施設をはじめ、標識・説明版・境界線等の設備の設置を行っています。直接事業の経費は国 65% 県 5.25% 市 29.75% 十和田市には歴史遺産的建造物はありませんが視線を変え十和田美術館にのっとりまちづくりを推進していくことは可能ではないかと思いました。

行政視察報告書

テーマ 「池田湖周辺観光施設整備事業

日時 令和6年7月24日(水) 9時半

場所 鹿児島県指宿市

人口 36,585人、九州最南端の小さい市であるが九州で一番大きな池田湖を抱えている。おおきな群生地や幻の怪獣イッシーがいる湖として知名度が高く鹿児島県を代表する観光地の一つとして役割を担っている。又大河ドラマで放映された天璋院篤姫の出生地でもあり、幕末の薩摩藩の偉人を絡める観光事業「レトロピカル指宿」として池田湖周辺の整備事業を実施。観光施設の管理事業方式については採算性や参加事業者の提案を踏まえて指定管理者制度を導入している。これによって入込数は令和4年度165,000人であったが、令和5年度は293,000人と成功している。十和田湖、奥入瀬溪流を持つ観光地としてD.M.O.にすべてまかせるのではなく、もっと地元の思いを取り込む協議会を設置すべきと思う。

観光建設常任委員会

工藤正廣

行政視察報告書

テーマ 「景観と歴史遺産を活用したまちづくり」

日時 令和6年7月24日(水)14時

場所 鹿児島県南九州市

南九州市は平成19年12月 穎娃町、知覧町、川辺町が合併して人口33,000人の市が誕生。

特に知覧町は薩摩藩(島津77万石)の南薩の要衝知覧島津の領地であった。

領主の御飯屋を中心として道路割防備を兼ねた城壘型の区画、武家屋敷の戸ごとに庭園が築かれ、主屋と庭園が調和している庭園都市となっている。

これが国選定重要伝統的建造物群に指定され保存事業を立ち上げる。これは文化財保護法を基本として景観定例を定めている。

この定例計画の内容は

① 届出制度

② 景観形成基準

③ 景観形成重点地の決定

④ 景観重要路線の決定

⑤ 景観重要建造物の決定

この景観定例は京都、金沢等の文化遺産を所有する自治体は定例を定めており、十和田市も一般的な

基準を定めていると思う。

今回の南九州市の視察はその意味に於いて
勉強になった。

観光建設常任委員会
工藤正廣